豊富な実績と確かな信頼性

昭和電線の光伝送システム工事

光ケーブルは情報通信インフラの基幹として、あるいはネットワークにおいてはバックボーン幹線として用いられます。高い信頼性を必要とすることは言うまでもありません。昭和電線は、独自のコンサル･設計･施工部門を持ち、ハイクオリティな光伝送路を構築致します。

●コンサルタント

【企画・設計・各種申請・見積積算】

光ケーブル･接続材･光線路設計、布設工法等豊富な経験を生かしてお客様のニーズに沿った光伝送路をご提案致します。

●エンジニアリング

【製品・工法開発、改良】

新システム、工法等の開発改良、また各種技術資料(光ケーブル布設張力、弛度等)の作成等を行っております。

●施工・メンテナンス

【ケーブルメーカーとして材料特性を熟知した施工】

昭和電線では、光工事だけで年間数百件もの工事実績があり、工事現場に各種有資格者を配置し、最新鋭の施工ツールを使用して安全･確実な施工を行います。

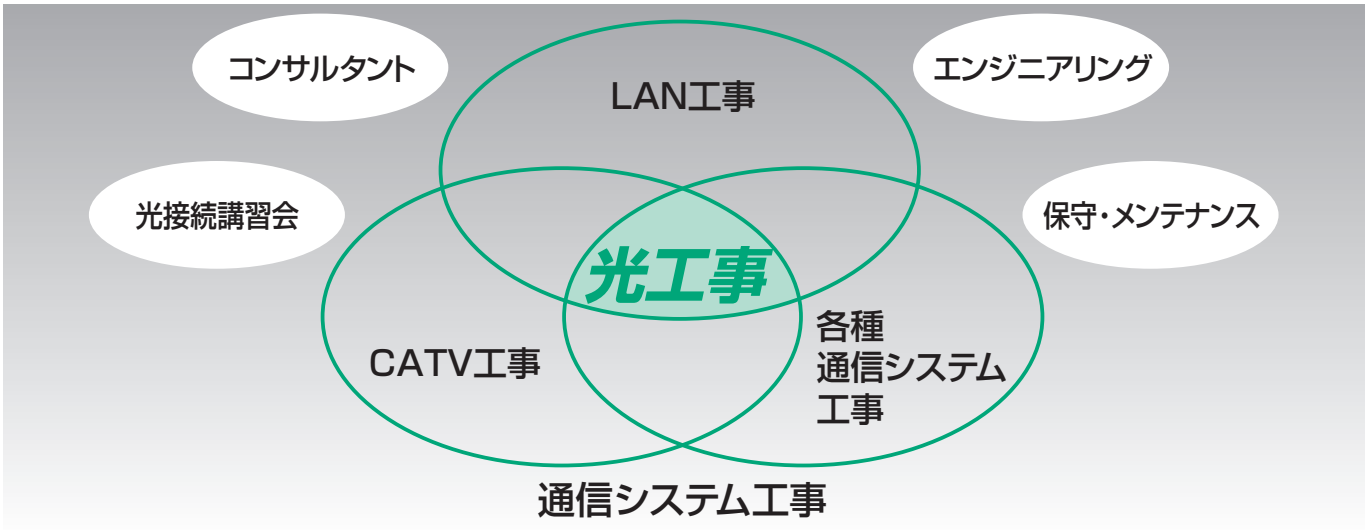
【各種システム工事、LAN工事への展開】

CATV工事、LAN工事、LCX等各種通信工事全般の工事についても、豊富な実績を持つ各分野のエキスパートがお客様のニーズに沿った対応を致しますので、お気軽にお問い合わせください。

■光接続講習会の実施

【光ケーブルの基礎から解りやすくお教え致します】

昭和電線では「光ケーブルをもっと知りたい」「光ケーブルの接続方法を教えてほしい」等の声にお応えし、光接続講習会を実施しております。基本コースは3日間です。光ケーブルの基礎から、接続･試験方法まで丁寧にご指導いたします。また、講習会受講修了者には修了証を発行致します。



⚠ 注意！ 光ファイバ関連作業での注意事項

●光源(発光ダイオードやレーザダイオード)を直視しないでください。 光機器や光測定機等の発光部には、比較的発光パワーの大きな光源が使用されていることもあります。発光部を直接覗き込むようなことは絶対しないでください。なお、詳細は各機器の取扱説明書をご参照ください。

●光ファイバ屑は指に刺さります。 スプライス作業中に発生する光ファイバ屑は針のように先端が鋭角ですので、皮膚に刺さることがあります。従ってスプライス作業中の整理･整頓と作業後のファイバ屑の片付けには十分ご注意願います。